

令和2年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文
朝河貫一賞募集要項

- 主催 福島県教育委員会
- 応募資格 県内の中学校（含む中学部）・高等学校（含む高等部）の生徒
※ 中学校には、義務教育学校後期課程を含む。以下同じ。
- 募集の趣旨 今日の世界の国際化の進展は著しく、世界のさまざまな文化や価値観を尊重するとともに、国際社会の平和と発展を担っていくことのできる青少年の育成が望まれています。また、東日本大震災に対して海外から多くの支援の手が差しつけられ、国際社会とのつながりが改めて実感されています。
こうしたことから、福島県教育委員会は、国際性豊かな人材の育成を目指して、郷土が生んだ国際的歴史学者「朝河貫一博士」の名を冠した賞を制定し、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。
- 研究論文の内容 日本及び日本人の国際社会における在り方・生き方等についての論文
※ 海外研修やホームステイなどの体験ばかりでなく、東日本大震災を通しての国際社会とのつながり、国際化が進む中で日本人はどうあるべきか、これからの国際交流はどうあるべきかなど、広い視野からの論文を期待します。
【参考例】（令和元年度最優秀賞受賞論文題名）
○中学校の部：「豊かな日本の見えない問題」
○高等学校の部：「伝えること、つなげること」
福島県教育委員会HPで、最優秀賞受賞論文（日本語・英語）を読むことができます。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/gimukyoiku73.html>
- 応募条件 (1) 未発表の論文とします。
(2) 個人・・・400字詰原稿用紙 空白を含む2,000字以上2,800字以内
(参考文献・出典を除く)
(B4判またはA4判 縦書き・横書きいずれも可)
(3) 団体・・・400字詰原稿用紙 空白を含む7,200字以上8,000字以内
(参考文献・出典を除く)
(B4判またはA4判 縦書き・横書きいずれも可)
(4) HB以上の濃い鉛筆を使用して、はっきりとした原稿及び応募用紙を作成してください。また、パソコンによる作成も可とします。
(5) 原稿用紙の紙面には、タイトルのみを記入し、氏名及び学校名は記入しないでください。
(6) 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、論文に添付してください。
(7) 応募により、論文（最優秀賞受賞後の英語版を含む。）及び顔写真等の福島県教育委員会に関わる広報媒体（ホームページを含む。）等への掲載等について承諾したものとします。
- 提出先 中学生、高校生とも在籍している学校の先生に提出してください。
中学校は 各学校から市町村教育委員会を経由し福島県教育庁義務教育課へ提出
(県立、国立、私立中学校は、福島県教育庁義務教育課へ提出)
高等学校は 各学校から福島県教育庁義務教育課へ提出
※ 提出先 〒960-8688
福島市杉妻町2番16号
福島県教育庁義務教育課
「朝河貫一賞」論文募集係 電話024-521-7776
※ 応募論文は返却いたしません。
- 募集期間 令和2年9月1日（火）～9月9日（水）（必着）
- 審査員 審査員長 郡山女子大学非常勤講師 ジョン・ティルマント
審査員 福島学院大学認定こども園カウンセラー 玄永牧子
福島大学准教授 真歩仁しょうん
福島民報社取締役浜通り創生局長兼論説委員長 早川正也
福島民友新聞社編集局次長・出版部長 佐藤 掌
福島県中学校長会生徒指導部会幹事 熊谷 幸司
福島県高等学校長協会普通部会長 鈴木 陸治
- 賞 中学校の部：最優秀賞 1点 優秀賞 5点 入選 2点 程度
高等学校の部：最優秀賞 1点 優秀賞 5点 入選 2点 程度
- 発表 入賞者には、校長を通じてお知らせします。（令和2年11月下旬）